

No.50 -2	事業名 バイオマスタウンの推進 (菜の花プロジェクト)	23年度 予算額	1,103 千円	新規 拡大 継続
-------------	-----------------------------------	-------------	----------	----------------

### 1 事業目的 (趣旨)

ナタネ栽培を契機として、開花 (観光・景観)、搾油 (食用油利用)、BDF 変換 (廃食油の回収)、燃料化 (公用車、農業機械利用) など、ナタネの多様な特性の利活用を行い、地球温暖化防止、CO<sub>2</sub> 排出削減などを実践し、環境に対する市民の意識啓発を図る。

### 2 全体の事業内容

#### (1) 内 容

耕作放棄地や遊休農地等にナタネを栽培し収穫することで、農地の保全、景観作物としての利用や農業の再生に繋げるとともに、食用として利用したナタネ油等を BDF に変換する。またその過程を環境学習に活用する。

#### (2) 事業期間

平成 19 年度～

#### (3) 事業主体

豊岡市

#### (4) 全体事業費 (補助率・負担率等)

12,011 千円

### 3 23 年度予算

#### (1) 予算額

1,103 千円

#### (2) 事業内容

- ・ナタネの栽培～搾油工程を環境教育 (学習) に位置づけ、小学生、市民への環境啓発活動として推進する。
- ・学校給食センターから出る廃食油を BDF に変換する。
- ・変換 (精製) された BDF は、公用車、給食センター配送車、農業機械の軽油代替燃料として利用する。

担当課名【農林水産課】 (内線 2368)

No.5 1 事業名 海外販路開拓	23年度 予算額	727 千円	新規 拡大 継続
-------------------	-------------	--------	----------------

### 1 事業目的（趣旨）

水稻単作地帯である本市の農家が、戸別所得補償制度において、生産意欲が高い米の需給調整を達成する手段を確保する必要がある。

また、国がTPP交渉参加の是非について検討するといった貿易自由化に向けた動きに対応するべく、市内農産物の国際競争力を高める必要もあることから市内産農産物の海外販路の開拓を目指す。

### 2 全体の事業内容

#### (1) 内 容

ひょうごの美味し風土拡大協議会が香港の日系スーパー（一田（YATA）百貨）にて開催を予定するひょうご農林水産フェア（仮称）への「コウノトリ育むお米」を中心とした市内農産物を出品する。

#### (2) 事業期間

平成 23 年度

#### (3) 事業主体

豊岡市

### 3 23 年度予算

#### (1) 予算額

727 千円

担当課名【農林水産課】（内線 2359）

No.5 2	事業名	環境保全型農業直接支払制度等の創設	23年度 予算額	19,675 千円	新規 拡大 継続
--------	-----	-------------------	-------------	-----------	----------------

### 1 事業目的（趣旨）

国では平成 23 年度新規事業として、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者に対して環境直接支払制度を新設した。

この制度の創設により、有機農業をはじめとする環境保全型農業実践者の取組みが認められ、所得の一部として代価相当額が支払われることになり、環境に負荷の少ない農業の取組みが拡大する。

### 2 全体の事業内容

#### (1) 制度の概要

##### ① 環境保全型農業直接支払（国 1/2、地方 1/2）

（農地・水・環境保全向上対策：営農支援含む）

対象 ア.化学肥料・化学合成農薬を原則 5 割以上低減する取り組みとセットで地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む場合（①カバークロープの作付け②リビングマルチ③草生栽培の実施④冬期湛水管理）

イ.有機農業に取り組む場合

##### ② 市単独環境直接支払

対象 ア.冬期湛水管理（コウノトリ育む農法に限る。）

イ.コウノトリの舞農産物の一部

ウ.コウノトリ育む農法のうち減農薬タイプ

#### (2) 事業期間 平成 23 年度～27 年度

#### (3) 事業主体 豊岡市

### 3 23 年度予算

#### (1) 予算額

① 国の制度によるもの・・・10,975 千円 計画面積 140ha

（地方負担額のうち県 1/2、市 1/2）

② 市単独支援によるもの・・・8,700 千円 計画面積 197ha

#### (2) 事業内容

① 国の制度によるもの・・・8,000 円/10a

国の制度によるもの（農地・水・環境保全向上対策：営農支援）品目ごとに設定

② 市単独支援によるもの

・冬期湛水管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・7,000 円/10a

・コウノトリの舞農産物のうち減農薬大豆・・・・・・・・2,500 円/10a

・コウノトリの舞農産物のうち減農薬キャベツ・・・・8,000 円/10a

・コウノトリ育む農法のうち減農薬タイプ・・・・・・4,000 円/10a

（冬期湛水なし）

担当課名【農林水産課】（内線 2368）

No.53 事業名 農地利用集積円滑化事業	23年度 予算額	1,400 千円	新規 拡大 継続
-----------------------	-------------	----------	----------------

### 1 事業目的（趣旨）

農地利用集積円滑化事業（農地所有者代理者事業）によって認定農業者等の農業経営体（効率的かつ安定的な農業経営を営む者）への農地の面的集積の促進を図る。

### 2 全体の事業内容

#### (1) 内 容

市が農地の所有者から利用権設定の相手方の選定についての委任を受け、農地の耕作者の調整を行い、当該事業により期間6年以上の利用権設定を行った農用区域内の農地を対象に、貸し手側（3割）と借り手側（6割）への奨励金及び市町事務費（1割）を配分する。

※ 交付金単価：20,000円/10aの配分額

貸し手側 6,000円	借り手側 12,000円	市町事務費 2,000円
-------------	--------------	--------------

#### (2) 事業期間

平成23年度

#### (3) 事業主体

豊岡市

#### (4) 全体事業費（補助率・負担率等）

1,400千円（補助率100%）

### 3 23年度予算

#### (1) 予算額

1,400千円

#### (2) 事業内容

- ・面的集積：5ha
- ・利用集積交付金：1,000千円  
（貸し手側300千円、借り手側600千円、市町事務費100千円）
- ・市町活動推進費：市町啓発費400千円

No.54 事業名 コウノトリ育むお米販売促進	23年度 予算額	6,133 千円	新規 拡大 継続
----------------------------	-------------	----------	----------------

### 1 事業目的（趣旨）

豊岡市の環境創造型農業の柱である「コウノトリ育む農法」で栽培された米（コウノトリ育むお米）の消費拡大と安定した販売ルートを確立させることにより、持続可能な農業（農業所得の向上、生産体制の確保、取組み面積の拡大など）の推進を図る。

### 2 全体の事業内容

#### (1) 内 容

コウノトリ育む農法により栽培されたお米（コウノトリ育むお米）の知名度を高め販売を拡大するためには、米の背景にある物語を知ってもらうための取組み（情報発信）、取扱店を拡大することにより消費拡大を図る取組み（取扱店開拓、実食（試食）機会の設定）を国内外の有名店、大規模店、こだわりのある店など様々な切り口、機会を捉えて具体的に展開する。

#### (2) 事業期間

平成21年度～

#### (3) 事業主体

豊岡市、たじま農業協同組合

#### (4) 全体事業費（補助率・負担率等）

11,852千円（JAへの補助率1/2）

### 3 23年度予算

#### (1) 予算額

①お米のテキストの作成等・・・2,941千円

②城崎温泉旅館でお米利用促進・・・3,192千円

#### (2) 事業内容

①お米のテキスト作成（中国語版チラシ作成含む）、ノベルティー米の購入、販売促進活動経費、商標登録経費（中国、香港、台湾）、販売促進事業補助金

②育むお米価格補てん補助金(H23.4～6月の間の城崎温泉の42旅館で育むお米を使用6,800kg及び10月実施分10,000kg)

担当課名【農林水産課】（内線2368）

No.55 事業名 コウノトリ育む農法の推進	23年度 予算額	1,702 千円	新規 拡大 継続
------------------------	-------------	----------	----------------

### 1 事業目的（趣旨）

豊岡市の「環境創造型農業」の柱である「コウノトリ育む農法」（安全なお米と生きものを同時に育む農法）の取組みを支援・普及拡大するための施策を展開し、もって豊岡の農業を持続可能な力強い元気な農業にすることを目的とする。

### 2 全体の事業内容

#### (1) 内 容

コウノトリ育む農法の普及・啓発用パンフレットの作成や、栽培技術の向上に向けた取組みなどを支援するとともに、国内外にコウノトリ育む農法を情報発信する活動を促進する。

#### (2) 事業期間

平成 17 年度～

#### (3) 事業主体

豊岡市

#### (4) 全体事業費（補助率・負担率等）

1,767 千円

### 3 23 年度予算

#### (1) 予算額

1,702 千円

#### (2) 事業内容

- ・ 普及促進用パンフレット作成・・・500 千円
- ・ 第 2 回生物の多様性を育む農業国際会議参加経費（韓国、農家 2 人と職員 1 人参加予定）・・・402 千円
- ・ 水深板製作（水管理用 898 筆分）・・・800 千円

担当課名【農林水産課】（内線 2368）

No.56 -1	事業名 基盤整備促進事業 (蓼川堰)	23年度 予算額	20,800 千円	新規 拡大 継続
-------------	--------------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

蓼川堰は、農業用河川工作物応急対策事業（大規模）により、円山川河川堤防強化と並行して蓼川堰の改修を実施し、河川堤防へ及ぼす危険性を解消し、人命、財産の安全と安心を確保する。

また、周辺環境や生態系に考慮して事業を進める。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

頭首工他 1式

(2) 事業期間

平成20年度～平成25年度予定

(3) 事業主体

兵庫県

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

1,240,000千円（国55% 県37% 地元8%）

3 23年度予算

(1) 予算額

県営事業負担金 20,800千円

豊岡市負担額 事業費260,000千円\*4%=10,400千円

地元負担額 事業費260,000千円\*4%=10,400千円

(2) 事業内容

護岸工等 1式

担当課名【農林水産課】（内線2374）

No.56 -2	事業名 基盤整備促進事業 (福江基幹水路、蓼川用水路)	23年度 予算額	37,500 千円	新規 拡大 継続
-------------	-----------------------------------	-------------	-----------	----------------

### 1 事業目的 (趣旨)

本事業は基幹水利施設ストックマネジメント事業により、豊岡2期地区として兵庫県を事業主体に福江基幹水路、蓼川用水路の2箇所の事業を実施する。

福江基幹水路は、地域の主要な排水路であり、水路構造物の老朽化により、排水管理や維持管理に多大な支障を来たしている。

また、蓼川用水路についても、経年による構造物の劣化により、用水の水管理をはじめ維持管理に支障を来たしている。

事業の実施により施設の長寿命化を図ることにより農業の効率化を進める。また、周辺環境に配慮した事業を進める。

### 2 全体の事業内容

#### (1) 内 容

福江基幹排水路工 L=1,000m H=1.2m W=2.0~4.3m

蓼川用水路工 L=3,613m H=0.7~0.9m W=1.7~1.8m

#### (2) 事業期間

平成21年度~平成24年度

#### (3) 事業主体

兵庫県

#### (4) 全体事業費 (補助率・負担率等)

401,050千円 (国50% 県25% 市10% 地元15%)

### 3 23年度予算

#### (1) 予算額

県営事業負担金 37,500千円

豊岡市負担額 事業費150,000千円\*10%=15,000千円

地元負担額 事業費150,000千円\*15%=22,500千円

#### (2) 事業内容

福江基幹排水路工 L=280m H=1.2m W=2.0~4.3m

蓼川用水路工 L=1,570m H=0.7~0.9m W=1.7~1.8m

担当課名【農林水産課】 (内線2374)



No.57 事業名 林業振興事業	23年度 予算額	69,580 千円	新規 拡大 継続
------------------	-------------	-----------	----------------

### 1 事業目的（趣旨）

公的機能の低下及び今後放置の懸念される45年生以下のスギ・ヒノキの人工林について、適切な保育事業（除間伐、搬出間伐）を実施することにより、水源涵養等の公的機能の向上を図るとともに搬出する間伐材の木質バイオマスへの活用も図る。また、作業の効率化を図るため作業道の敷設を実施する。

### 2 全体の事業内容

#### (1) 内 容

財産としての森林の価値の向上と森林資源の充実を図るため計画的に保育事業（除間伐、搬出間伐）及び作業道の敷設を実施する。また、搬出する間伐材の木質バイオマスへの活用を行う。

#### (2) 事業期間

平成23年度（単年度毎に実施）

#### (3) 事業主体

豊岡市

#### (4) 全体事業費（補助率・負担率等）

平成23年度分

・造林事業（市行造林事業）

15,520千円 公的森林整備(分収契約)・・・補助率5/10以内  
流域育成林整備(市町有林)・・・補助率4/10以内

・作業道敷設（市行造林事業）

34,300千円 公的森林整備(分収契約)・・・補助率5/10以内  
流域育成林整備(市町有林)・・・補助率4/10以内

・作業道敷設（森林林業緊急整備事業）

19,760千円 県費(10/10)

### 3 23年度予算

#### (1) 予算額

69,580千円（うち造林事業分15,520千円）

#### (2) 事業内容

間伐等の実施（市行造林事業）

・竹野町段（除間伐1.15ha）、椒（抜き伐り【搬出】1.4ha、抜き伐り2.6ha）

・出石町奥山（抜き伐り1.86ha）、上村字マナド（抜き伐り2.96ha）

上村字榎見（抜き伐り14.46ha、抜き伐り【搬出】14.77ha）

・但東町坂津（除間伐【搬出】4.7ha、除間伐3.0ha）、小坂（除間伐6.87ha）

作業道敷設（市行造林事業）

・城崎町湯島 L=500m、竹野町椒 L=200m、出石町奥山 L=1,300m

出石町上村 L=2,500m、但東町坂津 L=400m

作業道敷設（森林林業緊急整備事業）

・日高町水口 L=900m、日高町上郷 L=1,000m

担当課名【農林水産課】（内線2391）

No.58 事業名 環境対策育林事業	23年度 予算額	11,794 千円	新規 拡大 継続
--------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

公的機能が低下している45年生以下のスギ・ヒノキの人工林及び今後放置される恐れのある同人工林について、間伐を実施することにより水源涵養機能等、森林の持つ多面的機能の高度発揮に努め、適切な環境の維持存続を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

県と市が連携し、16年生から45年生のスギ・ヒノキ人工林の間伐に要する経費を負担することにより、山林の持つ公益的機能の維持保全を図る。

(2) 事業期間

平成14年度～平成23年度

(3) 事業主体

北但東部森林組合

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

210,728千円

標準的な場合の事業費の負担割合

造林事業		環境対策育林事業	
国庫 51%	県随伴 17%	県 7.5%	市 24.5%

3 23年度予算

(1) 予算額

11,794千円

(2) 事業内容

除間伐 B 20ha  
 除間伐 E 50ha  
 抜き伐り U 40ha  
 抜き伐り X 125ha  
 計 235.00ha